

○101204 毎日「アジア大会で見えたもの<5>」

「国立スポーツ科学センター（JISS）が高級ホテルを借り切り、約30人の職員が常駐して、選手たちのリフレッシュなどに当たった」「サポートハウスは日本とほぼ同じ環境を作り出すことが目的だった。おにぎりやみそ汁などの和食を提供する食堂や、マシンを使ったトレーニング施設、1人で思考することのできる「個室」などが用意された」「炭酸浴などのプール、高気圧酸素カプセルも1386人が利用するなど「疲労回復」が人気だった」

「勝つために重要な映像分析の利用は216件、情報関連サービスの活用も59件と低く、戦略基地としての機能は低かった」

「マルチサポート事業で、五輪でのメダル獲得が有望視される「ターゲット競技」に指定されているのは夏季は13競技・種目。このうち、今大会ではトライアスロンが男女とも金銀を占め、セーリングとカヌーでもそれぞれ3個の金を獲得した。だが、陸上や競泳などはターゲット競技とされながらも多くの選手が苦戦した」

「マルチサポート事業の来年度予算は、概算段階で今年度の約19億円から大幅に増加し27億円。その一方で、日本オリンピック委員会（JOC）の強化の補助金は今年度並みにとどまる見込みだ」

○101201 産経「第7部 アジア大会からの教訓④」

「2006年ドーハ大会は、開催国のカタールなど中東産油国がオイルマネーにものをいわせてアフリカから選手を“輸入”。陸上を中心に帰化選手が活躍した。広州アジア大会の大きな特色は、新興勢力の台頭。中でもインドの躍進が目をつけた。金メダル数は14個で6位。そのうち12年ロンドン五輪の実施競技で11個を数えた」

「10月にニューデリーで開催された英連邦大会。英連邦に属する71カ国・地域が参加する同大会は4年に1度の祭典で、インドは19回目にして初めてホスト国を務めた」

「インドには強化拠点となるナショナルトレーニングセンターが5カ所ある。…敷地内には外国人コーチの邸宅を用意。家族を郷里から呼び寄せて生活させている、という厚遇ぶりだ」

「インドが五輪史に残した足跡はまだ新しい、北京五輪で射撃選手の獲得した金メダルが初の快挙だった。だが人口は約12億人と人材には恵まれている。英連邦大会の開催により、ニューデリーのインフラ整備は進み、08年から4年間の経済効果が50億ドルという政府試算もある。一方で、開催にまつわり汚職疑惑が表面化するなど、国の体質は旧態依然。国民生活にはびこるカースト制、貧富の差、つきまとうテロの懸念など、スポーツ界の発展を阻害する要素も多い」

○101201 毎日「アジア大会で見えたもの<2>」

「アジア大会最大の特徴は、広いアジアのさまざまな民族の間で親しまれている競技を多く取り入れていることだ。今大会でもドラゴンボート、クリケットのほか、チェスの一種目となった囲碁などが新設され、過去最高となる42競技476種目が行われた」

「「民族スポーツ」を取り込む傾向は、86年ソウル大会で韓国の国技・テコンドーが採用されたのを皮切りに、90年北京大会で東南アジアのセパタクロ、インドの国技・カバディ、中国に由来する武術、94年広島大会で沖縄発祥とされる空手と、年々強まってきた。…

民族スポーツにとってアジア大会は、いまや「国際化への登竜門」ともなっている」「人口が世界の6割を占めるとも言われる巨大なアジアには、まだ掘り起こされていない“商品”と“市場”が眠っている」

「台湾では（*テコンドーの失格判定をめぐって）韓国国旗が燃やされ、韓国外交通商省が憂慮を表明するなど、国際問題に発展しかねない状態に陥った。あつてはならない「事件」ではあったが、それだけ競技が世界で認知され、人気が高まったことの証左とも言えた」「クリケットは、五輪に不可欠なテレビ放映に対応するため、最近の国際試合では「20オーバー(1チームの投球数が120球)制」を採用している。これにより、伝統的なものでは、テストマッチ(国代表試合)でも5日間もかかっていた試合を、約3時間に短縮した」

○101128 毎日「自信深めた広州」

「08年の北京五輪、今年10月に閉幕した上海万博に続いて開催された広州アジア大会。経済力を背景に近年続いた国際行事は一段落する。…広州は、巨大イベントを成功させたことで北京、上海に負けない実力を国内外に示し面目躍如を果たした」「大会実現のため広州は地下鉄、道路建設などインフラ整備を含めて1226億元（約1兆5600億円）の巨費を投じた。今後も都市の拡張は続く」「大会後の不動産市場が再び過熱する可能性がある。3大国際イベントを終えた中国の針路は見えない」

○101128 毎日「喜びと懸念 相半ば」（中国青年報の記者）

「この大会は中国人や広州の街、国家にとって大きな何かをもたらした。…広州市民にとっては大会後も享受できる便利な交通網、清潔な街並み、さらに深いスポーツへの意識ももたらされることになるだろう」

○101128 毎日「課題残した分散会場」

「テロ発生を警戒し、10万人規模の警備を敷いた開会式で幕を開けた今大会。…大会後の跡地利用を優先させ、郊外に分散させた会場配置は、都市型の国際大会開催モデルとして課題を残した」「アジア大会史上最多の70カ所に分散した競技会場や練習会場の多くは、五輪施設と見劣りしなかった。だが、市中心部の一等地にある「天河体育センター」で行われた競技はサッカーなど6競技。最多の12競技会場が集まった「大学城」は郊外で…。▽利便性に富む都心部での競技開催は、交通渋滞と表裏一体の問題を抱える。一方、郊外での巨大施設の建設は、跡地利用で頭を抱える結果を招きかねない。今回は比較的中規模の施設を郊外に数多く配置した「折衷案」だが…」

「アジアの調和を意味する「和諧亞州」をうたった今大会。…尖閣諸島沖漁船衝突事件をきっかけに緊張した日中関係や、北朝鮮による韓国への砲撃があった南北の対立などは大会には影響を与えず、政治からは一定の距離を保つことができたようだ」

「日本の金メダルは、目標の50個超を下回る48個で、4大会連続の3位に終わった。前回2位だったメダル総数でも韓国に16個上回られて3位となった。…ただ…団体球技の健闘が光ったほか、…講じてきた強化策の効果を示した競技もあった。▽韓国は、02年釜山大会の96個には及ばなかったが、金メダルを前回大会から18個上積みした。…総メダル数を前回と比較すると、台湾は21個増。ウズベキスタン、イランも10個以上増やした。インドは陸上での活躍が目立ち、香港も躍進した。また出場45カ国・地域のうち、前回より3多い29カ国・地域が金メダルを手にし、アジア全体の競技力の向上を示した」